

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391600109
事業所名	グループホーム向が丘

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	八千代会のメンバーを中心としたボランティアが日頃からホームに来ており、朝のラジオ体操、昼食準備の手伝いをしており、地域との連携は良く出来ている。ホーム2階の「寄り合い茶屋」では認知症の勉強会等、様々な文化教室が開催されており地域交流の場となっている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	年に6回いきいき支援センター職員、利用者家族、民生委員、消防団長など多数の出席がある。会議では、ホームでの活動報告や今後の取組みについてなど、活発に意見交換がされている。意見をもとに朝市でフードバンクを取り入れることとなった。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	名古屋市主催の研修に参加したり、定期的に区役所職員から介護保険制度に関する情報を得ている。民生委員からの要望を受け、独居高齢者を対象にした認知症の勉強会をいきいき支援センターと連携して実施している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	年3回の家族会以外にも面会時などで意見を聞く機会が多く、要望についてはできる範囲で柔軟に対応している。毎月の請求時には利用者の日頃の様子を伝えたホーム便りを郵送している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○				